

「善意の日」（6月1日）の制定について

1. 制定の趣旨

「社会のためにつくしたい」、「人のためにつくしたい」という気持ちはだれもがもっていますが、自分の善意をどうすればあらわせるかわからないまま、心の中で埋もれていることもあり、ひとの善意をいっばいうけることもあります。また、一度も人の善意にふれる機会のない人々も多くあると思います。

このような県民ひとりひとりの善意と誠意を結び、集め育てることによって、社会の福祉を増進し、明るい豊かな郷土づくりをすすめて行きたいと念願し、6月1日に「善意の日」を制定した。

2. 制定の経緯

昭和39年、「みんなの小さな善行や善意が重なって、世の中が明るくなるものであり、県民だれもが、この日何か一つ善行をしてもらいたい」との思いから6月1日を「善意の日」とし、県と県社会福祉協議会が共同主催者となって推進することとなった。

3. その他

(1) 「善意の花」

昭和39年6月1日、善意の花を「のじぎく」とした。

(2) 「善意の歌」

昭和40年6月1日、善意の歌を「心の花ばたけ」とした。

(3) 記念行事

現在まで県内各地域において、6月1日の「善意の日」を中心に記念行事や善意の募金など実施している。

～ 心の花ばたけ ～

兵庫県・兵庫県社会福祉協議会 制定歌
作詞：橋本 竹茂 作曲：百瀬 三郎

1	わたしの あなたの むねのうち	ひろげて 映かす 花ばたけ
	ちいさいけれど 世の中の	おやくにたちそな たねまいて
	そだてて のばして いきましょう	
2	お山のまつの木 すぎの木	葉ずえに光る つゆのため
	たまれば大きい 川となる	まごころ しんせつ おもいやり
	つもれば あかるい 国となる	
3	おういとよんだら むこうから	おういとよんだら むこうから
	世界の隅で ひとしれず	たれかのよろこぶ ことをする
	善意の花です みのりです	